

平成28年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	神子原農林水産物加工販売施設		
指定管理者	株式会社 神子の里		
住所	羽咋市神子原町は190番地	選定方法	非公募
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日		
指定管理料	0千円(平成28年度決算額)		
評価担当課	農林水産課		
年度重点目標	好調な売り上げを続けている神子原米の関連商品の拡充を図るとともに、6次産業化に向けた取組みとして、新しい加工品の開発を行うことで、ここに来ないと買えない商品を増やし、売上拡大を目指す。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	聞き取り	現在7名+社長
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	聞き取り	2月末に実施道の駅等視察研修(富山)
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	聞き取り	第三者への再委託はしていない。
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	駐車場、花壇等の清掃、除草も適正に行われている。
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	聞き取り	不具合が見られたときは、業者に連絡するなど、早急な対応をしている。
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	適切に管理されている。
3 サービス向上への取組状況(アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	現地	フェイスブック、ホームページで情報提供をしており、適宜更新している。
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	事例はない。
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	B	B	聞き取り	ハガキを使用したお客様アンケートを実施している。
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	聞き取り	迅速に対応している。職員への指導もその都度行っている。
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	聞き取り	消火器の使い方の講習を実施
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	B	B	聞き取り	今後、生産物賠償責任保険(PL保険)の加入をする予定

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか。	A	A	聞き取り	適切に管理されている。
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	聞き取り	税理士に委託し、定期的にチェックしており、適正な経理処理が行われている。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	現地	特になし。
		定められた料金を適正に收受しているか。	-	-	-	-
7	施設利用状況	前年同期と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	聞き取り	利用者数は昨年度と比較して減少しているが、H26年度とほぼ同人数である。H27年度はイベントがあり、その影響で微増している。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	現地	半年に一度、ヒアリング時に事業報告を実施している。
9	アンケート調査意見及び対応	職員が丁寧に教えてくださり、好感もてる対応だったとの意見、神子原米音頭のBGMがずっと流れており飽きるとの意見、10代や20代にも喜ばれる商品があったらよいとの意見等があった。施設に隣接する食事処が長く休業していたことへの意見もあったが、現在は通常通り営業している。苦情については、職員へ周知し、指導する等、その都度対応しており、特に問題はない。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	・乾燥機などの農業機械において、年数が経っているため、定期的に点検する等、維持管理の徹底に努める。				
11	今後の管理方針	6次産業化に向けた取組みとして、新しい加工品の開発を行い、商品を増やし、売上拡大、来客数の増加に努める。 耕作をやめてしまう農家が出てきており、会社に耕作を依頼されることが多くなってきている。 これまでは農機を農家から借りていたが、さらに耕作面積を増やすため、国の補助事業を活用しコンバインを購入する予定である。				
総合評価	中間評価		年間評価		平成27年度	平成26年度
	A		A		A	A